

2019年3月開催のワークショップのアンケート結果より

Q1 ワorkshopは とても有意義だったか？	Q2 発見したり、学んだりしたこと	Q3 将来、自分が理想とする法律家になるため に大切なこと	Q4 学んだことを踏まえ、法科大学院生活の中 で気をつけていきたいこと、大切にしたいこと	Q5 ご意見
とても有意義であった	相手方の主張を受けて、瞬時に説得的な反論をするためには、理解だけでは不十分であり、表現方法についても事前に準備することが重要であると感じた。書面作成においては、論理のつながりを断ってしまわぬよう、他の人の目で自分の書いた文章を見てもらうことも、今後積極的に行いたいと思った。	今の自分には、簡明に説得的な主張をする力に欠けていると思った。そのため、この点をまずは心がけていきたいと思う。	文章の書き方について、言葉の選び方に、より慎重になりたいと思っている。	ご多忙のなか、貴重な勉強の機会を頂き、本当にありがとうございました。3日間で学んだことをこれから生かしていきたいと思っている。
とても有意義であった	優秀なロー生・学部生と交流することで、自分の能力を客観的に再評価することができた。簡潔で相手に伝わりやすい書面を作成することの難しさはワークショップを通じて特に感じた。弁護士の先生方のコメントやチームメイトの技術には参考にしたい点が多くあり、勉強になった。	相手方の伝えたいことを正確に把握した上で、相手方及び判断権者を納得させるような論理を素早く正確に組み立てることが大切と感じた。	法律文書のみならず、あらゆる文書作成において、読み手の気持ちを考える言葉選び、論理の流れを心がけたい。	このワークショップに参加して大変学ぶものが多く、有意義な時間を過ごすことができた。本当にありがとうございました。
とても有意義であった	事前準備の大切さを学んだ。当日に話すことを、書面作成に加えて準備している必要があったと思う。同じ主張でも伝え方によって全く心証が違ふことを学んだ。	より説得的な主張をするために、たくさん気をつけなければならないことがある(論理・態度)ことを学び、今後はそのようなことを意識することが大切だと思った。	ソクラテスマソッドの対話の中で、簡潔にわかりやすい発音をすること。答案作成において、事実の評価を入れること。	同じ事案でもチームによって見方や法律的主張が変わっていて、とてもおもしろいと思うとともに、あまり触れる機会のない国際仲裁に触れるいいきっかけになったので、今後も続けていきたい。
とても有意義であった	調停や仲裁のやり方・雰囲気を全く知らなかったため、今回のプログラムを通じて、事案の検討・書面の作成から一連の流れを体験することができなかった。また、当たり前なことではあるが、法廷技術の未熟さも痛感することができた。	依頼人とのコンタクトを通じて、依頼人が何を一番求めているのか把握すること。	伝えたいことを短く、コンパクトにまとめられるように気をつけたい。司法試験も合格するよう明日からまた頑張る。	運営にたずさわっていただいた全ての先生方に感謝いたします。本当にありがとうございました。楽しい時間を過ごすことができました。
とても有意義であった	調停・仲裁にあたっての事前準備の大変さを身をもって学んだ。また、事実を拾って評価し、要件事実ごとに整理するのも難しいと思った。人前で発言する場面になるとやはり緊張してしまうので、慣れが必要だと感じた。	説得的な主張・反論をするために、論理的な思考力が必要とされると感じた。また、交渉術等、コミュニケーション能力も要求されると感じた。	法律論文の問題を解く際に、要件事実を意識しながら問題を読むことを心がけようと思う。また、自分の考えを他人に伝え、説得する能力も身に付けられるように頑張りたい。	大変お世話になりました。誠にありがとうございました。
とても有意義であった	そもそも調停や仲裁の流れを知らなかったため、模擬であっても体験することができてよかった。ふだんは法律論を中心に勉強しているのだが、実務の場ではそれ以外の能力も重要であるということを知ることができたと思う。実務についてのお話もたくさん聞けて法曹への実感をもつことができた。	議論の前提として十分な法律の知識があることはもちろんだが、話すときの論理の一貫性や立ち振る舞いなども大切になると思う。	今まで学んだことを将来法廷で生かしていくんだという自覚をもちたいと思った。	上智大学や他大学の方と交流ができて、とてもよい刺激になった。ありがとうございました。

2019年3月開催のワークショップのアンケート結果より

Q1 本ワークショップはとも有意義だったか？	Q2 発見したり、学んだりしたこと	Q3 将来、自分が理想とする法律家になるために大切なこと	Q4 学んだことを踏まえ、法科大学院生活の中で気をつけていきたいこと、大切にしたいこと	Q5 ご意見
とも有意義であった	相手方当事者は敵ではないこと。グループで何かに取り組むときのチームワークの重要性。弁護士の仕事は法廷で相手方と戦うことだけでなく、問題解決のため多岐にわたること。対立する相手方と話し合う場合は相手方の立場に立つてものを考えてみること。	法律論にとらわれすぎず、また、白黒つけることだけで目標とせず、依頼人が困っていること(解決したい問題)が何なのかを見抜き、最適と思われる選択肢を提示するよう意識すること。	法律の要件に形式的にあてはめて効果を導き出すだけでなく、結果としての妥当性をも考慮しながら結論を出したい。	とても勉強になる、ためになる春休みになった。依頼人役の弁護士の先生や、いらしゃった弁護士の先生方から貴重なお話を伺えたことも嬉しかった。
とも有意義であった	自分の主張を説得的に構築することはできたと思うが、仲裁や調停の講評を通じて、それが依頼人・調停人・仲裁人に理解され、納得してもらえるだけのものではないといけなと気づいた。総じて、相手方の目線に立ち、それを意識して対話を行わなければならないのに、その理解が足りていなかったなあと感じた。	Q2と重複するが、常に相手の目線に立てる法律家としてふるまわなければならないと考えた。私の法曹の志望は弁護士なので、依頼者が裁判官など接する全ての相手に対し、前述のようにふるまう必要があると思った。	自分の中で論理的な主張を作るだけでなく、相手にとってもわかりやすく、論理的な主張となっていなければならないということを常に意識していきたい。	大変有意義なプログラムで参加してよかったと考えている。3日間どうもありがとうございました。
とも有意義であった	全体を通し、仲裁や調停といった手続きの過程を学べただけでなく、そこから机上ではない生の主張のやり取りを前にして双方を納得させる妥当な結論を導き、説明することの大変さを感じた。答案など法律上の訴えではどうしても金銭による解決となってしまうところ、本当に資する方法を考えるというのは、新たな発見もあった。	話をよく聞いてわかりやすく話をまとめることを意識していたが、聞いた主張をきちんと理解するための前提となる知識をきちんとしておくことの大切さを痛感した。今はとにかく勉強することが大切、必要だと思った。	学説や少数説について争点となることを実感したので、通説、判例にとらわれず、広く勉強して実際の現場で使えるようにしたいと思った。	3日間大変お世話になりました。ありがとうございました。
とも有意義であった	自分の勉強がいかに足りていないかをよく痛感し、圧倒的な実力差を感じたという点で、まずは自らの法律学習を振り返った。最前線で働く先生方と大変優秀な学生たちの考え方やふるまいにふれたという点においても、とても有意義だった。今回の、時につらいと感じた経験により将来の法曹としての生き方を考えさせられた。	まずは何よりも法律学習。	この3日間の経験を通じて、さまざまなことに直面した。そこで学んだことを日々の学習、ふるまい、意識のちようとして大切にしていきたい。本当に貴重な経験ができたと思う。	自信は実力に裏打ちされるものと思った。生き方も考えさせられた。よい機会だった。よい思い出になるといい。
とも有意義であった	調停や仲裁において、弁護士がどのような役割を担い、立ち回るべきかを学んだ。傾聴や依頼者とのコミュニケーションがとても大事だと学んだ。	相手の主張の背後に隠れる利害関係や本音をうまく読み取ることが大切だと思った。また、書面作成能力についても非常に大切だと思った。	契約書を読む際には、一言一句注意深く読む、条文相互間・契約相互間の関係にも着目して読む。	講評など先生方のお言葉からたくさんの技術や姿勢について盗むことができた。ここで盗んだことを日々意識して身に付けたい。

2019年3月開催のワークショップのアンケート結果より

Q1 本ワークショップは とても有意義だったか？	Q2 発見したり、学んだりしたこと	Q3 将来、自分が理想とする法律家になるため に大切なこと	Q4 学んだことを踏まえ、法科大学院生活の中 で気をつけていきたいこと、大切にしたいこと	Q5 ご意見
とても有意義であった	調停は主張の根拠そのものだけでなく、 依頼者によっても成り行きが大きく左右さ れるものであること、仲裁、調停を通じて 自信のある態度の重要性を学んだ。 一方、その場で新たな議論が出たときに すぐに主張を構成することは自分は得意 だとわかったのも発見の一つだった。	相手方の反論を想定はしていたが、それ をきっちり再反論する準備ができていな い論点があり、そこで負けてしまった。綿 密に準備を行う力は必要だと思う。	議論の際の非言語コミュニケーション。	
とても有意義であった	議論に向けた準備の重要性(時間をかけ ること)。主張は「相手に伝えるもの」とい うこと。	精緻な事実の整理、理解をすること、そ れを評価すること、この評価にはさまざま な解釈の種類があることを知っておくこ と。	発言や書面作成において、簡潔でわかり やすい主張を心がけることにしていきたい。 その際に自分のしている議論が、なん のための議論なのか、位置づけを把握 することを忘れないようにしたい。	準備の本番・講義まで、実物を意識する よい経験になった。机上で勉強する上で よいイメージが湧いた。
とても有意義であった	実際の事案から立論をすること、主張す る際にどう仲裁人らに主張が伝わってい るか理解することなどの難しさを知った。 調停・仲裁の基本的なことについても知 ることができた。	日々簡潔に伝えたいことをまとめて伝え る練習。	Q3と同様だが、日々、物事、主張を伝え る際の伝え方に気をつけたいと思った。 グループワークの際のチームワーク。	実際に調停や仲裁に参加してみたような 体験ができたことはとても貴重だった。
とても有意義であった	口頭で法律討論するのは大変だった。 調停・仲裁の場で話すことは大変だった。 相手方ではなく、仲裁人に対して説得的 な話をするのが大切だと知った。	言葉選びを丁寧になること。 大局的な視点から議論を展開できるよう になりたい。	もっと自信をもって堂々とした態度で生活 したい。	他大学との交流という貴重な機会ができ たのでよかった。
有意義であった	調停でどの程度情報を開示するのか、依 頼人とのコミュニケーションの取り方、依 頼人を説得する場面があってもよいとい うことなどを調停で学んだ。 仲裁では、仲裁人の心証に沿った主張を することの難しさを学んだ。	依頼人との信頼関係。 弁護士としてどのような場面においても 毅然と対応すること。 事前準備。	まずは司法試験に受かること。 堂々とした態度。	3日間非常に楽しく得るものが多かった。 ありがとうございました。